

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 多田 智 (県道係長 松田 智)	内線	4 3 6 2 (4 3 7 6)
------	-------------------	---------------------	----------------------------	----	----------------------

事業種目	道 路	事業名	事業区間		総事業費	9.3 億円
		道路改築事業 すもとごしき (主)洲本五色線	すもとしながはらちようみきだ 洲本市中川原町三木田		内用地補償費	3.85 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度	
洲本市中川原町三木田			平成 19 年度	平成 19 年度	平成 23 年度	
事業目的			事業内容等			
<ul style="list-style-type: none"> 本路線は淡路島のほぼ中央に位置し、洲本市街地と旧五色町を結ぶ重要な幹線道路であるとともに、本事業区間は小学校の通学路ともなっている重要な生活道路である。 しかしながら、本バイパス区間の現道は、幅員狭小、線形不良であり、歩道も未整備であることから、離合困難による渋滞や人身事故が発生している。 そのため、本事業により、円滑な交通を確保するとともに、通学児童等の交通安全を確保する。 また、合併支援道路として、新市中心部と旧五色町中心部の連携を強化する。 			道路改築(バイパス) L = 1,400 m 合併支援道路 【道路規格】3種3級(山地部) 【計画幅員】W = 6.0 (11.0) m (2車線+片側歩道) 【現況幅員】W = 4.5 (5.5) m 【計画交通量】11,200 台/日(H42 推計値) 【現況交通量】11,193 台/日(H17 実測) 【自転車歩行者交通量】 85 人台/12h (H17 実測)			
評価視点		評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心を確保 する道づくり		<ul style="list-style-type: none"> 2次緊急輸送路の機能強化を図る。 第3次救急医療機関である淡路病院へのアクセス向上を図る。 通学路の安全性向上を図る。 				
くらしと交流を 支える道づくり		<ul style="list-style-type: none"> 洲本市街地と旧五色町中心部を結ぶ合併支援道路である。 淡路島における物流の拠点である洲本港へのアクセス道路である。 				
(2)有効性・効率性 有効性		<ul style="list-style-type: none"> 費用便益比 B / C = 6 . 1 交通量の多い(1万1千台/日)屈曲している現道を直線的にバイパスする事業であり、時間経済効果が非常に大きく、有効性が高い。 				
代替性		<ul style="list-style-type: none"> 車両の離合困難区間及び危険なクランク状の交差点2箇所を解消するための最短ルートであり、かつ経済性・施工性に配慮したルートである。 				
効率性 (事業執行環境)		<ul style="list-style-type: none"> 事業計画に対し、地元住民の理解が得られており、協力体制が整っている。 				
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> 切土による発生土は他の公共工事へ流用し、資源循環に努める。 切土・盛土法面に周辺植生に配慮した植栽を行い、環境への影響を軽微にする。 				
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> 今後、本事業区間終点部より、国道28号まで複数の工区で事業を予定しており、合併推進債適用期間内(H25年度まで)に全事業を完了させるためには、事業規模の最も大きい当該区間の早期事業着手が必要である。 				